

■ 磁気探査機器性能試験の申請について

- ・この書類は磁気探査機器性能審査制度による磁気探査機器性能試験を申請するにあたって、申請書の様式、別添の報告様式等の記入方法等の説明するものです
- ・試験申請するものは、下記項目をよく読んだ上で申請手続きを行ってください
- ・なお、試験日時・場所等は試験機関（沖縄県磁気探査協会）にお問い合わせ下さい

（会社番号について）

- ✓今回初めて申請される事業者の方は、審査機関より会社番号を付与するので、申請前に審査機関へ確認し、記入して下さい
- ✓これまでに申請したことがある事業者の方は、前回付与した会社番号を記入して下さい。ただし、磁気探査協会への新規加盟された事業者、または磁気探査協会を脱退して事業を継続する場合は新たに会社番号を付与するので申請前に確認して下さい

（申請機器の識別について）

- ✓試験機関から指導のあった識別番号シールの対応状況を確認しますので、対応状況（タグ）がわかるように申請書類を作成して下さい
- ✓令和元年度の性能審査申請番号は**黒色(白文字)のラベル (テプラ)** を使用して下さい
- ✓機器等識別番号は審査機関より発行したラベル（機器識別番号シール）を使用して下さい
※昨年度の試験で不合格となり機器識別番号シールが交付されなかった機器及び今年度より申請する機器に関してはラベルとして白色のテプラを代用すること

（書類作成と申請について）

- ✓申請書類は「申請（様式－1）」「履歴書（様式－2）」「別添資料一式」です
（申請書類の様式等の電子データは、沖縄しまたて協会及び沖縄県磁気探査協会のホームページから最新のデータをダウンロードして作成して下さい） **※過年度申請データを複製しないこと**
- ✓様式－1の年月日は銀行口座振り込み日と合わせて下さい
- ✓申請書類には、申請番号別にインデックスシール（見出し）を貼り付けて下さい→
- ✓申請書類はページ番号を振り、両面印刷で印刷して下さい
- ✓機器の仕様及び説明書や履歴書などの添付書類は各申請書本文の最後に綴り、申請書類に続けて添付書類にもページ番号を振って下さい
- ✓「申請書類のチェックシート」をチェックし、申請書類と一緒に提出して下さい
- ✓申請書類が作成できましたら、下記の通り書類を提出して下さい



●磁気探査機器性能審査制度
審査機関 沖縄しまたて協会
技術環境研究所
Tel : 098-879-2091



●磁気探査機器性能審査制度
試験機関 沖縄県磁気探査協会
Tel : 098-897-5733



●申請者控えとして
保存し、試験当日
に必ず持参して下さい

陸上用として使用

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載してない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定) 電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

陸上用

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として使用1/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名：令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等：下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

- 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 性能試験申請番号は必須項目です。記載してない場合は受理されません。
- 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先：以下のとおり

氏名： (他 名予定) 電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

海上用1/6

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

海上用として使用2/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載していない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定)電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

海上用2/6

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

海上用として使用3/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載していない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定)電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

海上用3/6

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

海上用として使用4/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

- 注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。
- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載していない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定)電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

海上用として使用5/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

- 注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。
- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載していない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定)電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

海上用として使用6/6

令和 年 月 日

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長 白波瀬 正道 殿

〒 000-0000
 申請者住所（番地まで入力）
 アパート名称・部屋番号等または空欄
 称号または会社名
 代表者または役職名 氏名

磁気探査機器性能審査制度の磁気探査機器性能試験について（申請）

件名について、以下の磁気探査機器等の性能試験について申請します。なお、磁気探査機器等の概要、機器の構成等は別添資料のとおり報告します。

性能審査申請費用は、裏面に記載した振込先に事前に振込み、振込証明書の複写を裏面に添付しました。

記

件名： 令和元年度磁気探査機器性能審査制度第1回性能試験

磁気探査機器等： 下表のとおり

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサ識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

- 注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。
- 2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。
- 3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数字、半角記号のみを使用すること。
- 4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載していない場合は受理されません。
- 5) 性能審査制度、機器証明の範囲、試験内容は別添資料を参照して下さい。
- 6) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

性能試験実施者及び連絡先： 以下のとおり

氏名： (他 名予定)電話：
 FAX： 携帯：

問合せ先

試験申請 審査機関：一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel：098-879-2091
 性能試験 試験機関：一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel：098-897-5733

1. 振込先

振込銀行名	琉球銀行 本店
貯金の種別及び口座番号	普通預金 No.812-784
口座名	一般社団法人 沖縄しまたて協会

2. 振込証明書等の添付

下の枠内に、振込証明書の複写を張付けて下さい。

一度振り込まれた申請費用は、返還できませんので、予めご了承下さい。

海上用として申請する場合は、それぞれの申請書に複写して添付して下さい。

磁気探査機器性能試験申請の別添資料の説明

目 次

参照頁

・別添資料の報告様式等（記載内容等をイメージしたもの）	17
朱書きは今回の申請にあたっての留意事項です。	
1) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更すること。	
2) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数値、半角記号のみを使用すること。該当する機器を申請していない場合は、空欄とすること。	
3) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。	
4) 識別番号 SEH を含むセンサは、鉛直移動軸方向試験の対象外とした。	
5) 会社番号は審査機関より付与された番号を記入すること。	
6) 試験機関から指導のあった識別番号シールの状況を確認しますので、対応状況（タグ）がわかるように申請書類を作成すること。	
7) 性能審査申請番号は黒色(白文字)のラベル（テプラ）を使用すること。機器等識別番号は審査機関より発行したラベル（機器識別番号シール）を使用すること。なお、昨年度の試験で不合格となり機器識別番号シールが交付されなかった機器及び今年度より申請する機器に関してはラベルとして白色のテプラを代用すること。	
8) 磁気探査機器性能試験の合否判定基準の記載が令和元年度より変更となりましたので、ご注意ください。合否判定基準を 33～34 頁に示します。	
9) 識別番号の付け方については申請番号及び識別番号の付け方を参照すること。	
10) 様式－1 の 2. 振込証明書等の添付は、複写を添付し原本は申請者で控えること。	
11) センサのケーブルタグには識別番号だけを記載してください。申請番号は記載しないこと。	
12) 記録計操作担当者及びセンサ移動担当者としての実務経験者の学歴と実務経験年数に注意すること。	
13) 履歴書の様式が指定（様式－2）となっているので注意すること。	25
以下は、申請者が性能試験申請にあたって参考になる資料を添付	
・申請番号及び識別番号の付け方	26
・磁気探査機器性能審査制度の概要	28
・磁気探査機器性能審査制度における機器証明の範囲	29
・試験内容	30
1. 検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	
2. 5 インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験	
・性能試験における留意事項	32
・性能試験成績証明書等様式	35

磁気探査機器等の概要・構成等

1. 両コイル型磁気傾度計の原理概要

コイルの断面を横切る磁力線の変化に比例して生じる誘導起電圧を測定することにより、磁気異常物の磁力量及び位置（深度）を算出し、磁気異常物を発見する。

棒状の検知器に内蔵されたコイルを2個使用することで地球磁場の影響を相殺し、地中に埋没する鉄類や不発弾を探査する。

一般性能

温度作動範囲 -0°C～ +0°C

耐水圧 0kPa

機器性能

検知器形成 両コイル型磁気傾度計（フラックスメーター）

増幅度 0dB

入力インピーダンス 0kΩ

出力インピーダンス 0kΩ

フィルター ローパスフィルター（0Hz）

電源 AC 00V

2. 磁気探査機器等

申請項目	申請番号及び識別番号	備考
性能試験申請番号		
センサー識別番号		
増幅器識別番号		
記録計識別番号		
無線機識別番号		

注1) 申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

2) 備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。

3) 申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数値、半角記号のみを使用すること。

4) 性能試験申請番号は必須項目です。記載してない場合は受理されません。

5) 性能試験の内容は別添資料を参照して下さい。

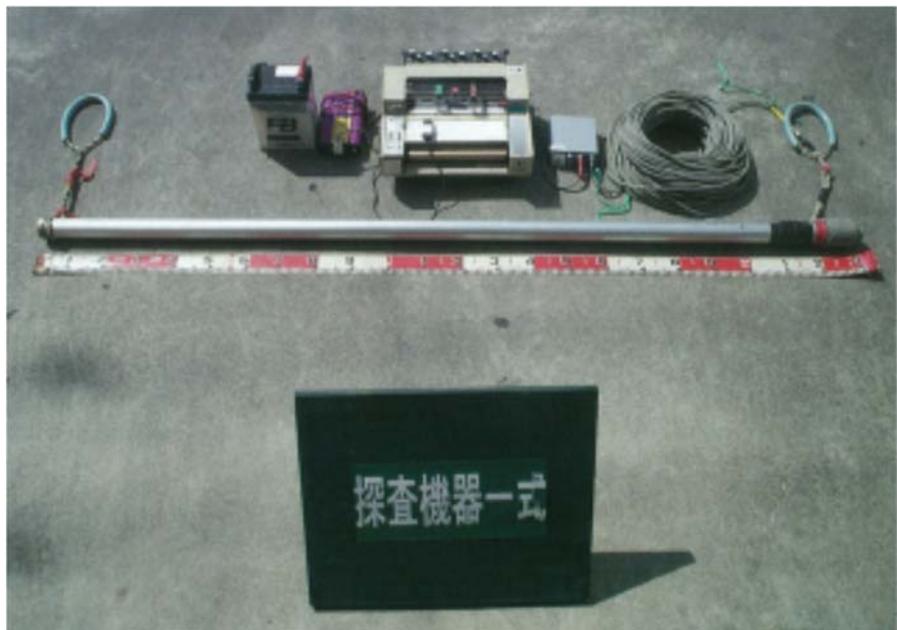
6) 識別番号は、審査機関より発行した発行したラベル（機器識別番号シール）を該当する機器に貼り付けて下さい。なお、鉛直センサー及び昨年度の試験で不合格となり機器識別番号シールが交付されなかった機器、又は今年度より申請する機器に関しては、幅9mmの白色のラベル（テプラ）等に文字サイズ19ptで印字して、該当する機器に張り付けて下さい。

性能審査申請番号は、幅9mmの黒色(白文字)のラベル（テプラ）等に文字サイズ19ptで印字して、該当する機器に張り付けて下さい。

7) 不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号SをRに変更して下さい。

3. 全体構成及び申請機器一覧等

全体構成



写真はイメージです。申請する機器の写真を添付

注) 海上探査で使用するセンサーの場合は、6本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

性能試験申請機器の全体構成

個別申請機器

3.1.1 センサー



写真はイメージです。申請する機器の写真を添付

センサーの全景

注) 海上探査で使用するセンサーの場合は、6本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

3.2.1 増幅器（増幅機能併用無線機の場合も、ここに記載して下さい。）

増幅器の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。	
--	--

増幅器の全体写真と番号の拡大写真

注1) 機器の識別番号は1個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。(海上探査で使用するセンサーの場合は除く。)

3.2.2 仕様

(主な仕様を記載して下さい)

注) 機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.2.3 製造及び型式（メーカー製品、自作機器の区別を明記）

製造：

型式：

機器の使用開始年：

3.3.1 記録計

記録計の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。	
--	--

記録計の全体写真と番号の拡大写真

注1) 機器の識別番号は1個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。(海上探査で使用するセンサーの場合は除く。)

3.3.2 仕様

(主な仕様を記載して下さい)

注) 機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.3.3 製造及び型式

製造 :

型式 :

機器の使用開始年 :

- 3.4.1 無線機（送信機及び受信機は、Data 転送用の無線機能のみ記載して下さい。増幅機能併用無線機は 3.2.1 の増幅器に記載して下さい。）

無線機の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。	
--	--

無線機の全体写真と番号の拡大写真

注2) 機器の識別番号は1個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。(海上探査で使用するセンサーの場合は除く。)

3.4.2 仕様

(主な仕様を記載して下さい)

注) 機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.4.3 製造及び型式

製造 :

型式 :

機器の使用開始年 :

4. 性能試験実施者

性能試験は、試験機関の性能試験技術員の指示に基づき、審査機関の派遣する性能試験員の立会確認のもとに実施することになっています。

性能試験における試験実施は、原則として、申請者から派遣された技術員等が行うので、以下に試験実施者を記入して下さい。(試験実施責任者、記録計操作、センサー移動担当者の4人から6人程度が必要)

記録計操作担当者及びセンサー移動担当者は、磁気探査技士の資格保有者または実務経験者(大学卒業6年以上、短大・高専・専門卒が8年以上、高校卒が10年以上、左記以外は15年以上)が実施することになりました。記録計操作担当者及びセンサー移動担当者は磁気探査技士認定証の写し(表と裏)を以下□内に張付けて下さい。(原則3名ですが、補欠として追加する場合は適当に張付枠を複写して添付して下さい。)

記録計操作担当者及びセンサー移動担当者を実務経験者として申請する場合は、会社証明の履歴書(履歴書は様式指定です。様式-2(履歴書)を使用して下さい。)を添付して下さい。

注) センサー移動担当者として、磁気探査技士の資格保有者または実務経験者を3名以上配置できない場合は、その旨を明記して試験機関と相談して下さい。

試験実施者の氏名及び実務経験年数等

氏名	生年月日	磁気探査実務経験年数	備考	試験参加者	
				内	外

注1) 試験参加者の内、外の覧は、性能試験当日に、試験実施責任者(または申請者)が該当者にレ点を記入して、性能試験責任者に報告して下さい。申請書類提出時は空欄とすること。

注2) 試験参加予定者の人数に応じて、表を削除または追加して資料を作成して下さい。

注3) 会社証明の履歴書を添付した場合は、履歴書の実務経験年数を記入して下さい。

磁気探査技士認定証の写し（表と裏）貼り付け欄

磁気探査技士認定証（表） A	磁気探査技士認定証（表） B
磁気探査技士認定証（裏） A	磁気探査技士認定証（裏） B

注) センサー移動担当者は、原則3名ですが、補欠として磁気探査技士の資格保有者を追加する場合は適当に張付枠を複写して添付して下さい。

履 歴 書

ふりがな

氏名

生年月日

ふりがな

現住所等

年(西暦)	月	学 歴 ・ 職 歴	備考
2005	3	卒業	
2005	4	〇〇入社	
2017	3	〇〇退社	
2017	4	〇〇入社	
2017	5	現在に至る	

磁気探査実務経験年数

12 年

上記の内容について、相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

申請者住所

称号または会社名

代表者または役職氏名 印

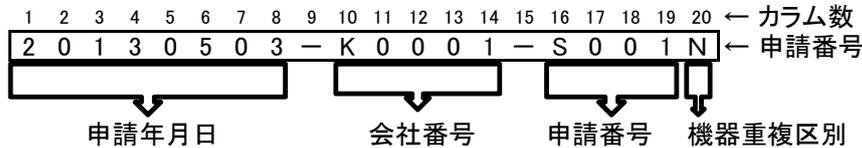
留意事項

- ・学歴、経歴に記載する年表記は西暦で半角数字で記入して下さい。月は半角数字で記入して下さい。
- ・学歴・職歴の1行目は最終学校名を正式名称で記入し、最後に「～を卒業」と記入して下さい。
- ・2行目以降の職歴は磁気探査業務に関する職場だけ記入して下さい。
- ・複数の会社の実務経験がある場合は、入社、退社を繰り返し記入し、最後の行に「現在に至る」と記入して下さい。
- ・最終入社ของบริษัท名等で証明・押印して下さい。
- ・磁気探査実務経験年数は自動計算されます。磁気探査関係の会社に入社してから現在までの経過年月です。複数社の経験の場合は、述べ経過年月合計です。合計年月の月は切り捨てとし、年のみ表記されます。
- ・記録計操作担当者及びセンサー移動担当者としての実務経験者の学歴と実務経験年数は、大学卒6年以上、短大・高専・専門卒が8年以上、高校卒が10年以上、左記以外が15年以上となっています。

■申請番号及び識別番号の付け方

○磁気探査機器性能審査申請番号

20桁で作成、作成方法は以下のとおりとする。



申請年月日を記入(カラム数は1-8)

・西暦で半角数字

2	0	1	9
---	---	---	---

0	5
---	---

0	1
---	---

 を記入する。申請年月日とは金融機関への振込日とする。
西暦 月 日

会社番号は審査機関より付与するので、申請前に確認して記入する。(カラム数は10-14)

・左詰めで磁気探査協会はKを記入、協会以外はGを記入、番号は右詰4桁で記入する。

申請番号は半角で左詰めで申請順に記入(カラム数は16-19)

・最初の申請は左詰めでSを記入

S	0	0	1
---	---	---	---

 ~

S	0	0	2
---	---	---	---

・再申請は左詰めでRを記入(不合格になった機器の組合せで申請する場合は再申請となる。)

R	0	0	1
---	---	---	---

 ~

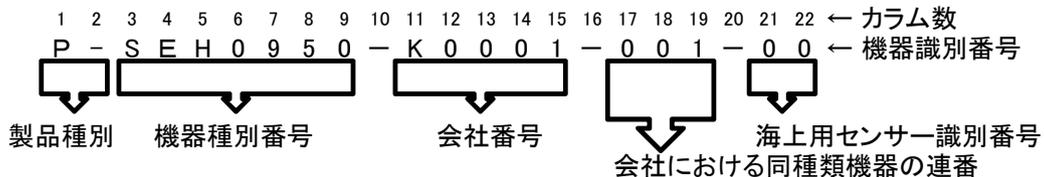
R	0	0	2
---	---	---	---

機器重複区別を記入(カラム数は20)

・磁気探査機器を重複して組合せ申請する場合に記入する。
・重複なしはN、重複ありはZを記入する。(重複の判断は今回の申請書類で判断すること。)

○機器等識別番号(機器別に注意が必要)

【センサ】22桁で作成、作成方法は以下のとおりとする。



製品種別を記入(カラム数は1-2)

・メーカー製品はM-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はMAとする。メーカー製品以外はP-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はPAとする。

機器識別記号を記入(カラム数は3-9)

・水平センサーはSEHの後にコイル中心間距離を[mm]単位で右詰め4カラムで記入する。

・鉛直センサーはSEVの後にコイル中心間距離を[mm]単位で右詰め4カラムで記入する。

会社番号は申請番号を参照(カラム数は11-15)

同種類機器の連番(カラム数は17-19)

・同種類機器は機器の種類別に番号を付ける。

例 P-SEH0950-K0001-001-00 ~ P-SEH0950-K0001-002-00

海上用センサー識別番号を記入(カラム数は21-22)

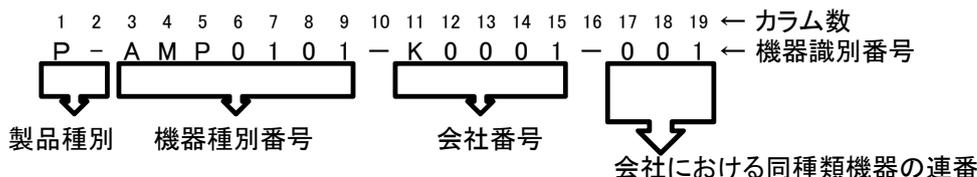
・海上用センサー以外は00を記入する。

例 P-SEH0950-K0001-001-00

・海上用センサはセンサ別に識別番号を記入する。

例 P-SEH1600-K0001-001-01、P-SEH1600-K0001-001-02、P-SEH1600-K0001-001-03
P-SEH1600-K0001-001-04、P-SEH1600-K0001-001-05、P-SEH1600-K0001-001-06

【増幅器、無線機】19桁で作成、作成方法は以下のとおりとする。



製品種別を記入(カラム数は1-2)

- ・メーカー製品はM-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はMAとする。メーカー製品以外はP-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はPAとする。

機器識別記号を記入(カラム数は3-9)

- ・増幅器はAMPの後に総チャンネル数、試験で使用するチャンネル番号の順に右詰め2カラムずつで記入する。

記入例 AMP0101(1チャンネル増幅器)、AMP0601(6チャンネル増幅器)

- ・無線機はRADの後に有効無線距離を[m]単位で右詰め4カラムで記入する
- ・増幅機能併用等の無線機はRAAの記号とする。その記号の後に総チャンネル数、試験で使用するチャンネル番号の順に右詰め2カラムずつで記入する。

記入例 RAA0101、RAA0601

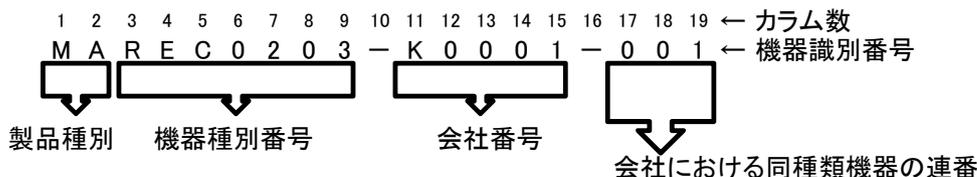
会社番号は申請番号を参照(カラム数は11-15)

同種類機器の連番(カラム数は17-19)

- ・同種類機器は機器の種類別に番号を付ける。

例 P-AMP0101-K0001-001 ~ P-AMP0101-K0001-002

【記録計】19桁で作成、作成方法は以下のとおりとする。



製品種別を記入(カラム数は1-2)

- ・メーカー製品はM-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はMAとする。メーカー製品以外はP-、機器に関する仕様及び説明書等がある場合はPAとする。

機器識別記号を記入(カラム数は3-9)

- ・記録計はRECの後に試験で使用するチャンネル番号を200mV、1Vの順に右詰め2カラムずつで記入する。 記入例 REC0203(チャンネル2が200mV、チャンネル3が1V)

会社番号は申請番号を参照(カラム数は11-15)

同種類機器の連番(カラム数は17-19)

- ・同種類機器は機器の種類別に番号を付ける。

例 MAREC0203-K0001-001 ~ MAREC0203-K0001-002

※検定用コイル(ソレノイド)はKENの後に巻回数を[回/m]単位で右詰め4カラムで記入する。

※検定に使用する発信器はFGTの後に振幅範囲の最小値を[mV]単位で右詰め4カラムで記入する。

※検定に使用する可変抵抗器はVREの後に抵抗値の最大値を[KΩ]単位で右詰め4カラムで記入する。

※現場用感度調整コイルはGKNの後にコイル長さ[mm]単位で右詰め4カラムで記入する。

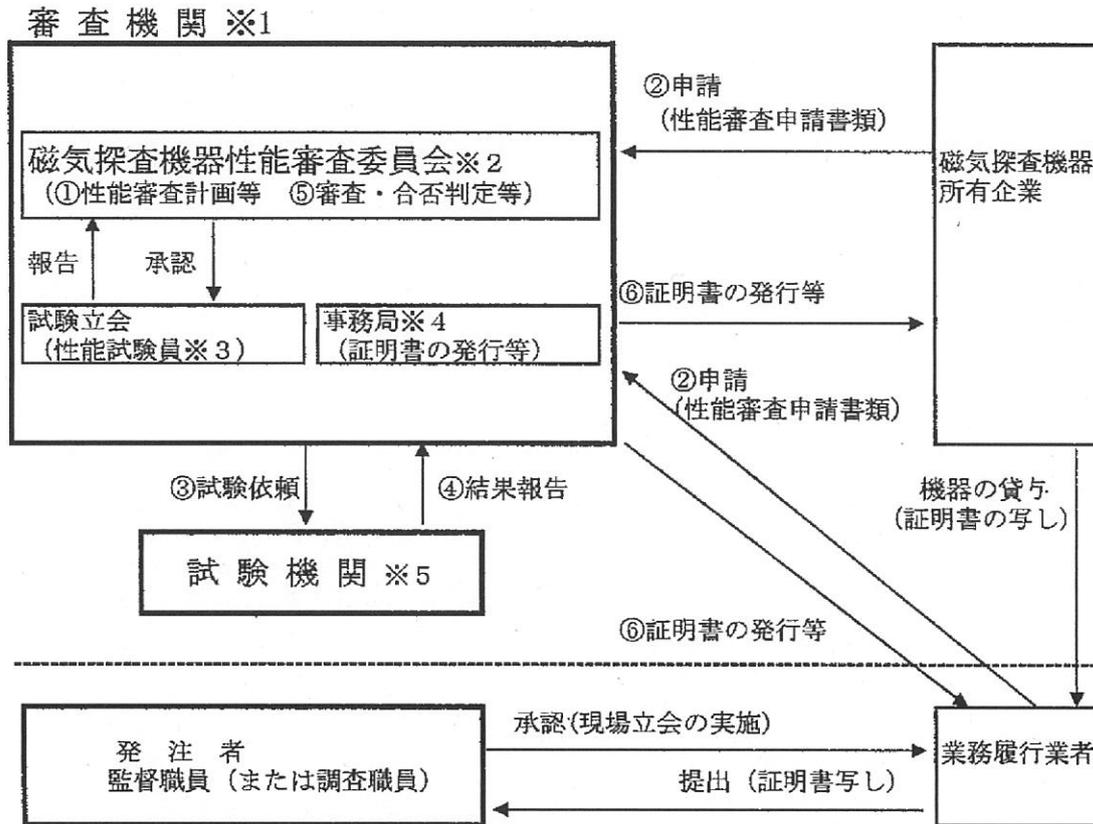
注)上の※書きは、試験機関の検定機器に関するもので、参考までに記載しています。

○性能審査申請及び試験に関する問い合わせは以下の連絡先へ

- ・審査機関 一般社団法人沖縄しまたて協会技術環境研究所 Tel 098-879-2091 申請審査
- ・試験機関 一般社団法人沖縄県磁気探査協会 Tel 098-897-5733 性能試験

磁気探査機器性能審査制度の概要

磁気探査機器性能審査手続きフロー



印の説明は以下のとおり

- ・ ※1 審査機関は磁気探査機器性能審査制度実施協定書の第4条による公募で決定し、沖縄総合事務局開発建設部長が指定する。
- ・ ※2 磁気探査機器性能審査委員会は、学識経験者、磁気探査関係の有識者、行政機関（沖縄総合事務局開発建設部及び沖縄県土木建築部）及び審査機関で構成する。
- ・ ※3 試験立会は委員会から指名された性能試験員が試験機関の実施する試験に立ち会ふ。
- ・ ※4 事務局は審査委員会の運営及び関係する資料の取りまとめ、証明書の発行事務等を行う。
- ・ ※5 試験機関は審査委員会で決定し、審査機関の長が指定する。

丸数字について

- ・ フロー図にある丸数字の①から⑥は業務の順番を示す。

性能審査対象物の磁気探査機器について

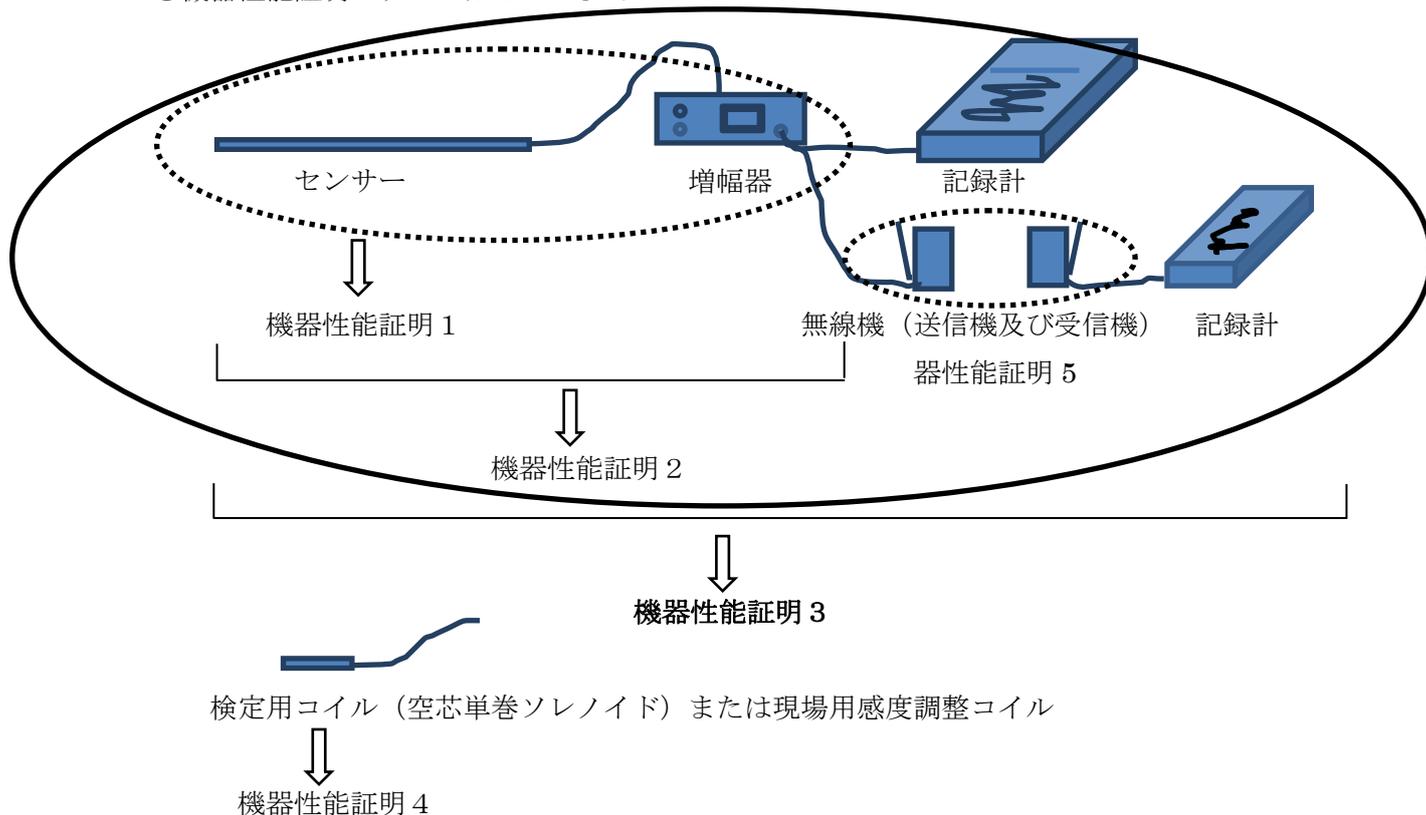
- ・ 沖縄県内の不発弾探査に使用されている両コイル型磁気傾度計とする。

磁気探査機器性能審査制度における機器証明の範囲

→ 機器性能証明 3 を実施する。

・個別の磁気探査機器には、センサー、増幅器、記録計、検定用コイルの4つ

○機器性能証明のケースは1～5まで



注1) メーカー製品はメーカー証明書等の提出すること。

2) 機器性能証明は、想定磁束の発生が保証された検定用コイル（空芯単巻ソレノイドコイル）を使用する。

3) 機器性能証明1は検定済みの増幅器、記録計を使用する。

4) 機器性能証明2は検定済みの記録計を使用する。

5) 機器性能証明3は、特定の状況を想定した磁気探査機器の組み合わせに対して性能証明を実施する。

6) 機器性能証明4は実施しない。

7) 機器性能証明5は、検定済のセンサー、増幅器、記録計を使用して、Dataが正確に送受信できるか無線機のみ
の検定である。

○特定の状況を想定した磁気探査機器性能証明は、センサー、増幅器、記録計、検定用コイル、現場用感度調整コイルを使用して実施する。

・センサー水平移動による垂直方向試験（実探査有効半径 例えば0.7～2.3mまで）

・センサー鉛直移動による軸方向試験（下方安全確認時有効半径 例えば0.3～1.0mまで）

注1) 確認のための実探査有効半径は安全を考慮（探査有効半径以上の確認をする場合）すると約12種類となる。

○増幅度特性試験

条件等

申請項目		備考
磁気探査機器性能審査申請番号		
センサ識別番号		単一申請
増幅器識別番号		単一申請
記録計識別番号		重複申請
無線機識別番号		重複申請
検定用コイル識別番号	MAKEN0942-K0000-002	検定機器
発信機識別番号	MAFGT0001-K0000-002	検定機器
可変抵抗器識別番号	P-VRE0011-K0000-002	検定機器

屋内試験日時： _____

屋内試験場所： 沖縄職業能力開発大学校シールド室

性能試験員： _____

性能試験責任者： _____
記録計担当者： _____

試験実施責任者： _____

注1)備考欄に試験対象は「単一申請」、「重複申請」、「検定機器」を記入する。

初期数値等

機器設定条件項目	数値等	単位	備考
増幅度：[dB]	-	dB	
記録紙幅：[mm]	250	mm	
記録計レンジ：[V]	1.0	V	注1)
検定用コイル試験成績 (V/ノット標準)	1177	μ T	電流 1[A]
検定周波数：[f/Hz]	0.3	Hz	
標準感度 Xs(μ T/s/mm)	0.02748	μ T/s/mm	注1)

注1)磁気傾度計の基準感度は1Vレンジで0.02748 μ T/sec/mmの時にk=0.5とする。また、0.2Vレンジで0.005496 μ T/sec/mmでk=0.1

ノイズ 振幅比率(参考) #DIV/0!

入力及び出力Data

項目：[単位]	入力Data、出力Data、計算Data等											
検定用コイル電流：I _{0-p} [mA]	0.04	0.08	0.12	0.16	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40	
入力磁気変化：φ (μ T/sec)	0.177	0.355	0.532	0.710	0.887	1.775	2.662	3.550	4.437	5.325	6.212	
記録計振幅：Ap-p[mm]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
感度：X (μ T/sec/mm)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

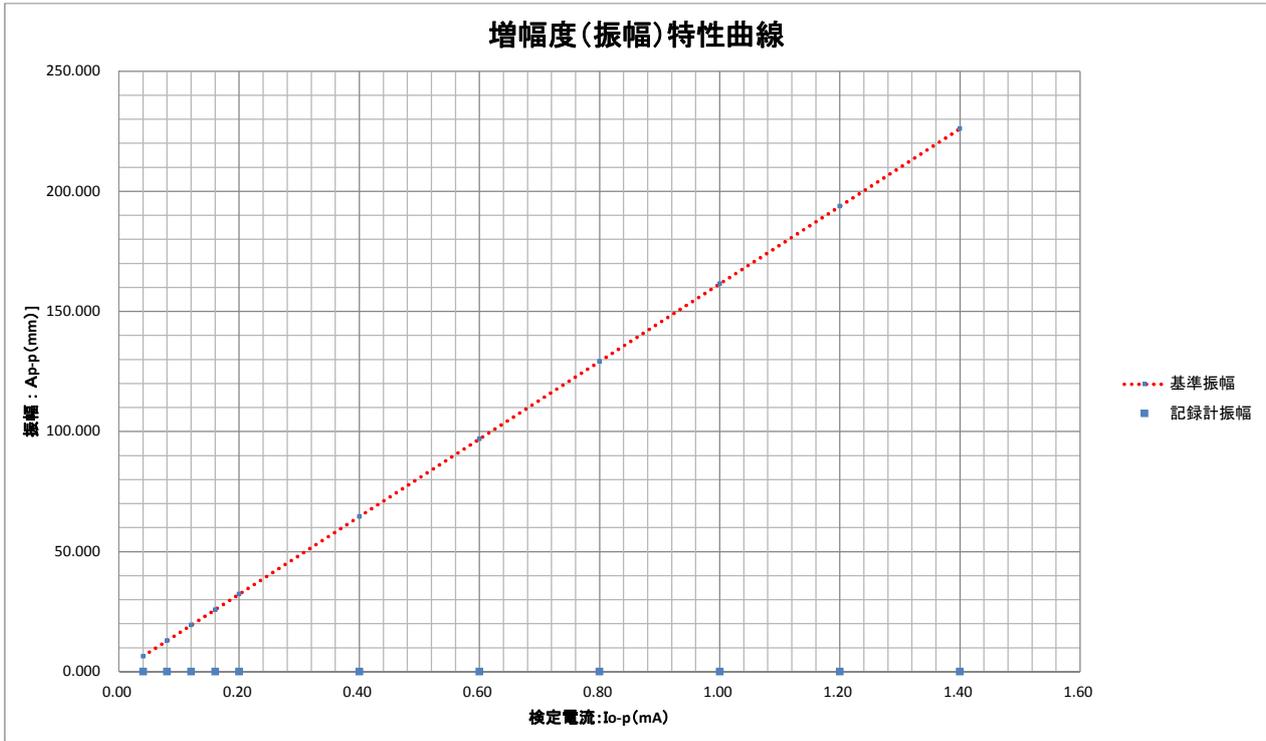
検定用コイルの磁束密度	
1000回/m	1256.637 μ T
検定用コイル	1177.000 μ T
補正係数	0.93663
電流補正係数	1.06766

注)入力磁気変化φ=0.8π²n f I_{0-p} (μ T/sec)
感度k=入力磁気変化/Ap-p (μ T/s/mm)

検定用コイル電流：I _{0-p} [mA]	0.04	0.08	0.12	0.16	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40
基準振幅：Ap-p[mm]	6.459	12.918	19.376	25.835	32.294	64.588	96.882	129.176	161.470	193.764	226.057

感度係数(平均値)X _{FS}	
#DIV/0!	

記録計振幅 - 基準振幅「mm」	-6.459	-12.918	-19.376	-25.835	-32.294	-64.588	-96.882	-129.176	-161.470	-193.764	-226.057
------------------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------



・記録計の波形(波形の形状) 注)正弦波形が記録計になめらかな波形で出力された場合は合格とし、みだれた波形で出力された場合は不合格とする。

・感度誤差試験 検定電流[mA]

感度係数X	0.04	0.08	0.12	0.16	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40
誤差E _c =(X-X _s)×100/X _s (%)	#DIV/0!										

最大誤差E_{max}(%) 誤差合否基準(%)

#DIV/0! → ± 10.00

・直線性試験

直線性誤差E_L=(X-X_s)×100/X_s(%)

直線性誤差E _L (%)	#DIV/0!										
-------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

直線性最大誤差E_L(%) 直線性合否基準(%)

#DIV/0! → ± 10.00

注)合否判定基準は、感度係数の精度が10%以下、直線性誤差が10%以下のときに合格とする。

記入にあたっての注意事項

注1)試験日時の記入例 → 平成25年2月22日(金) 9:30~10:30

2)場所は沖縄職業能力開発大学校シールド室、沖縄職業能力開発大学校作業場のいずれかを記入すること。

3)試験実施責任者は姓・名を記入して押印する。

4)性能試験責任者及び記録計担当者は姓・名を記入して押印する。

5)性能試験立会者は姓・名を記入して押印する。

6)性能試験を実施する上記3)、4)、5)以外の者は、「その他4人」等で人数のみを記入する。

7)備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。

8)申請番号及び機器識別番号は、半角文字、半角数値、半角記号を使用すること。それ以外の用語は使用しないこと。

9)検定電流0.04mAの測定は記録計レンジを1.0、0.2Vの両方に設定し、2ペン同時計測して、0.2Vレンジの読取値を1Vレンジに換算して測定値とする。

増幅度特性判定	否
試験時間の合否判定	

○5インチ砲弾相等の最低磁気量による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験

310422-Ver01

条件等

申請項目		備考
磁気探査機器性能審査申請番号		
センサ識別番号		単一申請
増幅器識別番号		重複申請
記録計識別番号		重複申請
無線機識別番号		
現場用感度調整コイル識別番号	MAGKN0300-K0000-001	検定機器
検定用コイル識別番号(水平試験)	P-KEN3108-K0000-003	検定機器
検定用コイル識別番号(鉛直試験)	P-KEN****-K0000-004	検定機器

注1)備考欄に試験対象は「単一申請」、「重複申請」、「検定機器」を記入する。

初期数値等	ノイズ振幅比率(参考)		#DIV/0!
機器設定条件項目	数値等	単位	備考
増幅度:[dB]	-	dB	
記録紙幅:[mm]	250	mm	
記録計レンジ:[V] 1ペン	0.2	V	注1)
検定用コイル試験成績 (ノイズ/単層)	-	μT	電流 [A]
想定最低磁束: Φ [μWb]	0.7	μWb	
標準感度 Xs(μT/s/mm)	0.02748	μT/s/mm	注1)

注1)磁気傾度計の基準感度は1Vレンジで0.02748 μT/sec/mmの時にk=0.5とする。また、0.2Vレンジで0.005496 μT/sec/mmでk=0.1

入力及び出力Data

項目:[単位]	水平移動垂直方向試験	備考
センサと想定磁極間距離[m]	0.70	斜距離
想定最低磁束: Φ [μWb]	0.7	
振幅: Ao-p [mm] センサ移動時間T[s]	0.00	0.000 波形確認
ノイズ振幅比率とノイズ	#DIV/0!	
想定爆弾	供試体を地表面に対して水平設置	

項目:[単位]	鉛直移動軸方向試験	備考
センサと想定磁極間距離[m]	0.30	直下距離
想定最低磁束: Φ [μWb]	0.7	
振幅: Ao-p [mm] センサ移動時間T[s]	0.00	0.000 波形確認
ノイズ振幅比率とノイズ	#DIV/0!	
想定爆弾	供試体を地表面に対して水平設置	

位置はコイル中心から0.5m離れて直下
コイルの延長線が探査工に交差するように設置

注)磁気量の記録計振幅は、鉛直設置より水平設置が小さいので水平試験、鉛直試験の供試体は水平に設置する。

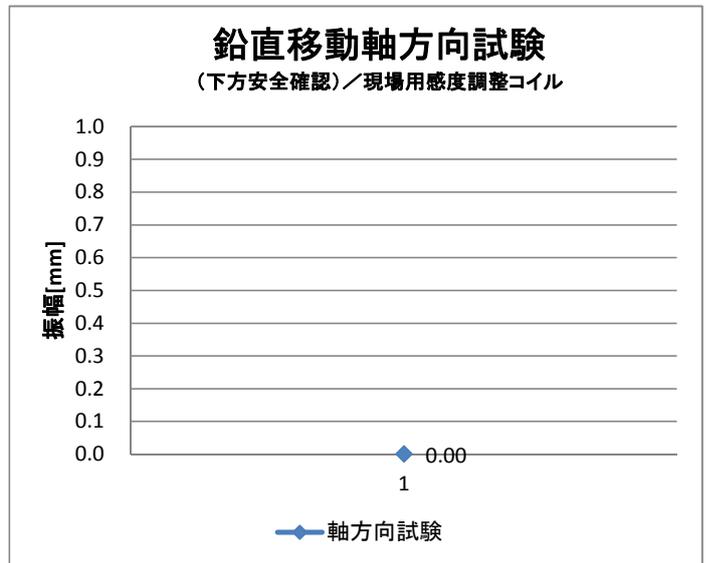
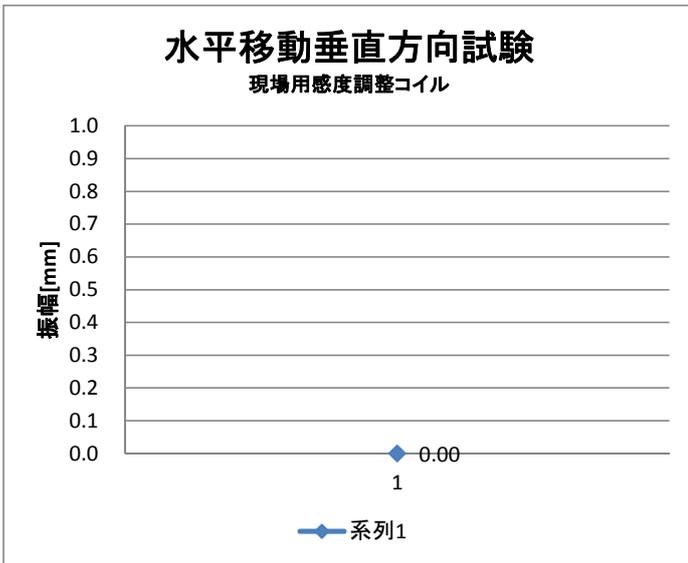
合否判定基準と確認

項目:[単位]	水平移動垂直方向試験	確認
磁気量の感知として波形が確認できれば合格		
合否(okは合格、noは否)	no	

項目:[単位]	鉛直移動軸方向試験	確認
下方安全確認で磁気量の感知として波形が確認できれば合格		×
合否(okは合格、noは否)	no	

注1)水平移動垂直方向試験は、磁気量の感知として波形が確認できれば合格とする。

2)鉛直移動軸方向試験は、下方安全確認で磁気量の感知として波形が確認できれば合格とする。



水平移動垂直方向試験の合否判定	否
鉛直移動軸方向試験の合否判定	否
試験時間の合否判定	

記入にあたっての注意事項

注1)試験日時の記入例 → 平成25年2月22日(金) 9:30~10:30

2)場所は沖縄職業能力開発大学校シールド室、沖縄職業能力開発大学校作業場のいずれかを記入すること。

3)試験実施責任者は姓・名を記入して押印する。

4)性能試験責任者及び記録担当者は姓・名を記入して押印する。

5)性能試験立会者は姓・名を記入して押印する。

6)性能試験を実施する上記3)、4)、5)以外の者は、「その他4人」等で人数のみを記入する。

7)備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。

8)申請番号及び機器識別番号は、半角文字、半角数値、半角記号を使用すること。それ以外の用語は使用しないこと。

9)記録計レンジを1. 0、0. 2Vの両方に設定し、2ペン同時計測して、0. 2Vレンジの読取値を1Vレンジに換算して測定値とする。

■性能試験における留意事項

磁気探査機器性能試験における審査対象物の定義、証明書及び合否判定に関わる留意事項を以下に示す。平成28年度より試験時間が新たに合否基準に追加されました。申請者の方は、以下の留意事項を確認した上で性能試験を受験して下さい。

1. 性能審査対象物

性能審査対象物は、沖縄県内の不発弾探査に使用されている磁気探査機器の両コイル型磁気傾度計とする。

2. 証明書の発行と合格した証明書の取り消し等

証明書の発行と取り消し等について、以下のとおりとする。

(1) 証明書の発行

審査機関の長は、委員会の審査結果に基づき、申請者に対して性能試験成績証明書（様式-2、様式-3）を発行する。

(2) 証明書発行の保留

審査機関の長は、委員会の審査の結果、再審査等が必要となった場合、証明書発行の保留を通知し、速やかに対応を行うものとする。

(3) 合格した証明書の取り消し等

1. 審査機関の長は、以下に該当する場合、すみやかに証明書の取り消し（様式-5）を行う。

1) 磁気探査機器の性能について、発注者等から疑義の申し立てがあった場合、審査機関の長は磁気探査機器所有企業または業務履行业者（以下機器所有企業等という）に、該当機器の性能試験の実施を通知（様式-4）して性能試験を実施する。その結果、性能試験に合格しなかった場合や性能試験を受験しなかった場合も証明書の取り消しを行う。

なお、性能試験結果に問題がない場合は、すみやかに実施結果の報告（様式-6）を行う。

2) 試験機関からの性能試験結果報告により不合格となった場合とする。

2. 審査機関の長は、虚偽又は不正の事実に基づいて合格した証明書を発行した事が後日発覚した場合には、その証明書を取り消すことができる。（様式-7）

3. 審査機関の長は、前項の規定による処分を受けた者に対し、証明書の取り消し日から一年以内の期間を定めて性能試験を受けさせないようにすることができる。

4. 審査機関の長は、申請者が虚偽若しくは不正の事実に基づいて合格した証明書を受け、規定に違反したと思料するときは、職権をもつて、必要な調査をすることができる。

1) 審査機関の長は、規定による合格した証明書の取消しをする場合においては、聴聞又は弁明の機会の付与を行った後、性能審査委員会の意見を聴いて行うものとする。

2) 審査機関の長は、前項の規定により事象について必要な調査をするため、審査機関の職員に、次のことを行わせることができる。

一 事象関係人若しくは参考人に出頭を命じて審問し、又はこれらの者から意見若しくは報告を徴すること。

二 帳簿、書類その他の物件の所有者に対し、当該物件を提出させること。

(4) 証明書の取り消しに関する関係機関への通知

審査機関の長は、合格した証明書がその効力を失ったときは、関係機関へ速やかに通知しなければならない。

3. 性能試験成績証明書の有効期間

第1回性能試験の成績証明書の有効期限は、原則として9月1日から1年間とする。なお、証明書の有効期間中に磁気探査機器の変更があった場合は、その証明書は無効とする。

4. 再申請及び追加申請における磁気探査機器の有効期間

再申請及び追加申請における磁気探査機器の有効期間は、委員会における合否判定後の第15条（証明書の有効期間）の残余期間とする。

5. 試験時間

試験時間とは、屋内における特性試験と屋外における試験があり、それぞれの試験時間は申請機器のセンサ1本あたり1時間以内とする。

試験内容は、申請機器の機器接続、機器調整、Data記録等が含まれ、試験開始と試験終了は性能試験責任者の指示による。

6. 合否判定基準

性能審査の合否判定基準は、以下のとおりとする。

1. 性能試験の試験時間

・下記「2. 検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験」の試験時間は、申請機器のセンサ1本あたり1時間以内を合格とする。

なお、試験機関が用意する検定用機器類に不具合が生じた場合は性能試験責任者の判断により、試験時間を調整する。

- ・ 下記「3. 5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した供試体用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験」の試験時間は、申請機器のセンサ1本あたり1時間以内を合格とする。

なお、試験機関が用意する検定用機器類に不具合が生じた場合は性能試験責任者の判断により、試験時間を調整する。

2. 検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験

- ・ 記録計に出力された正弦波形はなめらかな波形の場合に合格とする。
- ・ センサの誤差試験の絶対値最大誤差は10%以下を合格とする。
- ・ センサの直線性試験の絶対値最大誤差は10%以下を合格とする。
- ・ 記録計の総チャンネル数が3ペンの場合、申請した2ペンの計測値とそれ以外の1ペンで計測した計測値が大きくずれていない場合、合格とする。

3. 5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した供試体用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験

識別番号SEHのセンサは、鉛直移動軸方向試験の対象外とする

(1) 供試体用コイル（空芯複巻ソレノイド）による磁気探査機器の水平移動垂直方向試験

- ・ 磁気量の感知として波形が確認できれば合格とする。

(2) 供試体用コイル（空芯複巻ソレノイド）による磁気探査機器の鉛直移動軸方向試験

- ・ 磁気量の感知として波形が確認できれば合格とする。

参考までに、次頁以降に性能試験証明書等の様式を添付する。

陸上用として使用

性能審査申請番号：

性能試験成績証明書

株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○ ○○ 殿

磁気探査機器性能審査制度による審査の結果、貴会社の所有する磁気探査機器の性能試験について下記のとおり合格とする。

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長 白波瀬 正道

記

名 称：両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験

センサ識別番号：	
増幅器識別番号：	
記録計識別番号：	
無線機識別番号：	

使用条件：上記の両コイル型磁気傾度計申請機器の組合せに対して、別添の試験結果を証明するものである。したがって、各現場で使用する場合は、必ず各現場で指定された感度に調整を行い使用すること。また、機器性能保持の自主管理を適宜おこなうこと。

有効期間：

年 月 付け申請のあった上記の両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験結果は以下のとおりである。

試験場所：屋内 / 屋外 沖縄職業能力開発大学校作業場

試験実施日：屋内 / 屋外

性能試験員：屋内 / 屋外

性能試験責任者：屋内 / 屋外

試験項目	内 容	測定値及び許容値	合否
検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	記録計波形の形状確認、感度誤差の測定、直線性の確認	試験機関の試験結果を参照	
5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験注2)	磁気量の感知を確認	試験機関の試験結果を参照	

注1) 識別番号SEH を含むセンサは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

海上用として使用

性能審査申請番号：

性能試験成績証明書

株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○ ○○ 殿

磁気探査機器性能審査制度による審査の結果、貴会社の所有する磁気探査機器の性能試験について下記のとおり合格とする。

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長 白波瀬 正道

記

名称：両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験

センサ識別番号：	
増幅器識別番号：	
記録計識別番号：	
無線機識別番号：	

使用条件：上記の両コイル型磁気傾度計申請機器の組合せに対して、別添の試験結果を証明するものである。したがって、各現場で使用する場合は、必ず各現場で指定された感度に調整を行い使用すること。また、機器性能保持の自主管理を適宜おこなうこと。

有効期間：

年 月 付け申請のあった上記の両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験結果は以下のとおりである。

試験場所：屋内 / 屋外 沖縄職業能力開発大学校作業場

試験実施日：屋内 / 屋外

性能試験員：屋内 / 屋外

性能試験責任者：屋内 / 屋外

試験項目	内 容	測定値及び許容値	合否
検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	記録計波形の形状確認、感度誤差の測定、直線性の確認	試験機関の試験結果を参照	
5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験注2)	磁気量の感知を確認	試験機関の試験結果を参照	

注1) 識別番号SEH を含むセンサは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

性能審査申請番号：

性能試験成績証明書

株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○ ○○ 殿

磁気探査機器性能審査制度による審査の結果、貴会社の所有する磁気探査機器の性能試験について下記のとおり不合格とする。

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長 白波瀬 正道

記

名 称：両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験

センサ識別番号：	
増幅器識別番号：	
記録計識別番号：	
無線機識別番号：	

年 月 付け申請のあった上記の両コイル型磁気傾度計（センサ・増幅器・記録計等）の性能試験結果は以下のとおりである。

試験場所：屋内 / 屋外沖縄職業能力開発大学校作業場
試験実施日：屋内 / 屋外
性能試験員：屋内 / 屋外
性能試験責任者：屋内 / 屋外

試験項目	内 容	測定値及び許容値	合否
検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	記録計波形の形状確認、感度誤差の測定、直線性の確認	試験機関の試験結果を参照	
5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験注2)	磁気量の感知を確認	試験機関の試験結果を参照	

注1) 識別番号SEH を含むセンサは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

年 月 日

殿

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長

性能試験の実施について（通知）

貴社の磁気探査機器の性能について、疑義申し立てがありましたので、下記に記載された磁気探査機器について再度性能試験を実施しますのでお知らせします。性能試験の日時、場所等の詳細は、審査制度事務局と調整して下さい。

なお、性能試験を受験しなかった場合は証明書の取り消しとなりますので留意願います。

記

- ・ 名 称 : 両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）

性能審査申請番号:

センサー 識別番号	
増幅器 識別番号	
記録計 識別番号	
無線機 識別番号	

- ・ 使用条件 : 上記の両コイル型磁気傾度計の組合せとし、検定用コイルを使用し各現場に応じた使用条件に合わせて感度調整を行い使用すること。
また、機器の性能を保持するために自主管理を適宜おこなうこと。
- ・ 有効期間 : 年 月 日より 年 月 日まで

注1) 識別番号SEH を含むセンサーは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

年 月 日

殿

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長

性能試験成績証明書を取り消し（通知）

貴社の磁気探査機器の性能について、下記に記載された磁気探査機器については試験機関からの性能試験結果報告より性能試験成績証明書の合格を取り消します。

記

- ・ 名称：両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）
性能審査申請番号：

センサー識別番号	
増幅器識別番号	
記録計識別番号	
無線機識別番号	

- ・ 性能試験結果
年 月 日 実施した上記の両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）の性能試験結果は以下のとおりである。

試験場所：
試験実施日： 年 月 日
性能試験員：
性能試験責任者：

試験項目	内 容	測定値及び許容値	合否
検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	記録計波形の形状確認、感度誤差の測定、直線性の確認	試験機関の試験結果を参照	
5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験 注2)	磁気量の感知を確認	試験機関の試験結果を参照	

注1) 識別番号SEH を含むセンサーは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

年 月 日

殿

磁気探査機器性能審査制度審査機関
一般社団法人沖縄しまたて協会
理事長

性能試験の実施結果について（報告）

年 月 日 性能試験を実施した結果、下記の磁気探査機器の性能については問題がありませんでしたので報告します。

記

- ・名称：両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）
性能審査申請番号：

センサー 識別番号	
増幅器 識別番号	
記録計 識別番号	
無線機 識別番号	

- ・使用条件：上記の両コイル型磁気傾度計の組合せとし、検定用コイルを使用し各現場に応じた使用条件に合わせて感度調整を行い使用すること。
また、機器の性能を保持するために自主管理を適宜おこなうこと。

- ・有効期間：年 月 日より 年 月 日まで

- ・性能試験結果

年 月 日 実施した上記の両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）の性能試験結果は以下のとおりである。

試験場所：

試験実施日：年 月 日

性能試験員：

性能試験責任者：

試験項目	内 容	測定値及び許容値	合否
検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）による増幅度特性試験	記録計波形の形状確認、感度誤差の測定、直線性の確認	試験機関の試験結果を参照	
5インチ砲弾相当の最低磁気量を考慮した検定用コイル（空芯複巻ソレノイド）による水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験 注2)	磁気量の感知を確認	試験機関の試験結果を参照	

注1) 識別番号SEH を含むセンサーは鉛直移動軸方向試験の対象外とする。

注2) 水平移動垂直方向試験及び鉛直移動軸方向試験は陸上探査を前提とした試験であるため、海上で使用する場合は現地における性能確認を行うこと。

平成 年 月 日

殿

磁気探査機器性能審査制度審査機関
 一般社団法人沖縄しまたて協会
 理事長

合格した証明書の取り消し（通知）

貴社の磁気探査機器の性能について、下記に記載された磁気探査機器については以下の理由により合格を取り消します。

併せて、本処分により貴社が性能試験を受けることができない期間を通知します。

記

・名称：両コイル型磁気傾度計（センサー・増幅器・記録計等）

性能審査申請番号：

センサー 識別番号	
増幅器 識別番号	
記録計 識別番号	
無線機 識別番号	

取り消し理由	
取り消し日	年 月 日
本処分により性能試験を受けることができない期間	年 月 日 ～ 年 月 日